

平成31年度 お茶の水女子大学 理学部 生物学科

後期日程 論述試験問題

注意事項

答案用紙1枚の両面を使ってよい。

答案にはそれぞれの問題の番号を表記すること。

答案用紙に受験番号と氏名を記入すること。

後期日程 論述試験問題

次の文章を読み、以下の問1～3に答えよ。

気候変動に関する政府間パネル (IPCC) は、新たな評価報告書を発表し、地球温暖化を 1.5°C 以内に抑えるためには、社会のあらゆる側面で急速かつ広範な、これまでに例を見ない変化が必要だと述べました。IPCCによると、地球温暖化を 2°C でなく、 1.5°C に抑えれば、人間と自然生態系にとって明らかな利益となり、より持続可能で公平な世界を確保することにも資する可能性があります。

この特別報告書『Global Warming of 1.5°C 』では、地球温暖化を 1.5°C に抑えることによって、多くの気候変動の影響が回避できることを強調しています。例えば 2100 年までに、地球温暖化を 1.5°C に抑えた場合、世界の海面上昇は 2°C の温度上昇の場合に比べて 10 cm 低くなります。

(国際連合広報センターHP 2018年10月8日より抜粋・改定
http://www.unic.or.jp/news_press/info/30738/)

問1

どうして、わずかな温度の違いによって、生物個体(群)の生育や生存に大きな影響がでてしまうと考えられるのか、説明せよ。

問2

地球温暖化問題に対して、生物学はどのような貢献が出来るかと考えるか、あなたの考えを述べよ。

問3

地球温暖化以外の環境問題の例をあげ、その問題解決に有効な生物学的研究について述べよ。